



4-4 農業の振興

農業の生産性向上と持続的な発展を図るための環境づくりを進めます。

■ 施策の展開内容

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。

■ 現状と課題

- 本市の農業は、農家1戸当たりの農業産出額が低く、生産者の高齢化や担い手不足により農業経営を維持し発展させていくことが非常に厳しい状況となっています。農業の生産基盤や経営基盤を維持強化する必要があります。
- 手賀沼沿いの農地は、手賀沼や斜面林などと一体となった自然環境の保全や良好な景観の形成など重要な機能を発揮しています。これらの農地を保全し、人と農がふれあえる魅力ある場として活用していく必要があります。
- 都市近郊に位置する本市では、農業体験・学習の場や市民への安らぎの提供など、農業の持つさまざまな機能に対する期待が高くなっています。住宅地と農地との共存を図るだけでなく、生産者と消費者の交流を促進していくことが求められています。

■ 主な取組

生産性の向上と付加価値の創出

- 農業の生産性の維持・向上を図るため、集落・地域の話し合いにより、今後の地域の中心となる担い手を定め、農地集積を進める「人・農地プラン」を作成し、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、先進的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組みます。
- 生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援・育成し、環境にやさしい農業に取り組みます。
- 地元農産物の付加価値を高めるため、生産者、大学、商工業者、NPOなどの関係者と協力しながら、農業拠点施設を軸とした新たな加工品の開発やブランド化、市内外のイベントでのPRに取り組みます。
- 地元農産物を地域内で消費する地産地消を推進するとともに、市の交流人口を増加させる役割を担う農業拠点施設を活用し、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物の供給や食育推進に取り組みます。
- 収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援に取り組みます。

- 新規就農者を確保・育成するため、就農希望者の計画作成や農地の確保をサポートするとともに、就農後の農地拡大、農業機械・施設の導入、農業技術の習得、そのための資金調達などの支援に取り組みます。
- 手賀沼沿いの農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林などと一体となった豊かな自然環境を保全していくとともに、自然と農業を活かした観光資源としての活用を図ります。
- 誰もが農業に親しみ、楽しみ、育むことができるよう、市民農園の運営や農家開設型ふれあい体験農園の支援を実施し、農業体験の場を提供します。
- 関係団体と連携し、農業拠点施設を中心とした各種イベントを開催し、地元農産物の利用促進と消費者交流の場を提供します。

■ 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
農地利用集積面積	277.9ha (R2)	390ha	
新規就農者の経営体数	20 (R2)	33	平成 21 年度からの延べ数（離農した経営体数は除く）
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	29 人 (R2)	42 人	
農産物直売所年間売上	225,074 千円 (R 1)	260,000 千円	

■ 施策の満足度・不満足に関する指標（現況値は令和元年の市民アンケート結果を記載） 【農業の振興】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 66.4%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		26.2%	47%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	7.2%	7.1%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	9.1%		
	湖北地区	10.2%		
	新木地区	7.3%		
	布佐地区	12.8%		